

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

基本目標	重要業績指標 (KPI) (単位)		実績値							基準値 (R1)	単年度 実績値 (R5)	目標値 (R5)	目標達成率	評価			
			R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する																	
生産年齢人口 【数値目標】	人	9000	7971	7827	7574	7416	7246				7,971	7,246	7,287	99%	B		
基本施策 1																	
創業者数	人	10	8	6	8	7	3	7	7		8	1	7	14%	D		
基本施策 2																	
認定新規就農者数 (産業創造大学卒業者で 認定した者)	人	4	2	2	2	2	2	2	2		2	0	2	0%	D		
基本施策 3																	
観光消費額	百万円	4000	2652	1828	1973	2352	2305	3700	3700	3800	3900	2,652	2,305	3,800	61%	C	
世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む																	
	人	3000	2442	2324	2241	2181	2133	2362	2322	2282	2242	2,442	2,133	2,282	93%	B	
基本施策 1																	
移住者数 (空き家バンクに限る)	人	30	18	21	22	25	24	26	28	30		18	7	26	27%	D	
基本施策 2																	
新築住宅戸数	戸	100	72	65	75	75	75	65	44	59		72	59	75	79%	B	
結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する																	
合計特殊出生率 【数値目標】	人	2	1.88	1.20	1.20	1.21	1.06	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88	1.06	1.88	56%	C	
基本施策 1																	
子育て世代包括支援 センターの利用人数	人	10000	5071	7180	7630	8594	8585	7500	7550	7550	7500	5,071	8,585	7,550	114%	A	
基本施策 2																	
世羅高等学校入学者数	人	200	109	111	110	124	115	120	125	130		109	89	120	74%	B	
質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する																	
社会増減数 【数値目標】	人	0	-43	-67	-30	-24	-46	-18	-77	-11	-4	-43	-77	-18	23%	D	
基本施策 1																	
ケーブルテレビの インターネット加入率	%	100	36.1	37.8	52.7	51	52.2	46	47	48	49	36.1	52.2	48	109%	A	
基本施策 2																	
せらまちタクシーの 利用者数	人	40000	29214	24022	29490	29779	30068	22650	27003	26086	30357	30646	29,214	26,086	30,068	87%	B
基本施策 3																	
公立世羅中央病院 常勤医師数	人	30	14	13	16	16	16	13	14	14	16	14	14	16	88%	B	
基本施策 4																	
元気な地域づくり 応援事業実施件数	件	10	0	0	2	4	6	0	0	3	8	10	0	3	6	50%	C

基本目標Ⅰ 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する

【基本的方向】

創業希望者や創業後間もない人たちの円滑な事業展開を促進するため、継続的な支援を行います。また、地域産業の活性化を図るため、商工会や金融機関と連携し地元事業者の支援や中小企業・小規模事業者の事業継承を促進します。雇用機会の創出にも努めます。併せて、本町の基幹産業である農業等の将来の世羅町を担う人材の育成や観光振興に力を入れることで、持続可能な地域の働く場の創出に努めます。

数値目標

生産年齢人口

(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
9000	7971	7827	7574	7416	7246				
7000					7557	7422	7287	7152	7014
5000									

【総合戦略評価・意見】 評価できる：13人 評価できない：0人

農業のまち世羅町として、農業研修制度など、基盤が整備されている事が評価できる。

基本施策1 創業・事業継承支援、地元事業者支援による地域産業の競争力強化

令和5年度の成果

全体を通しての方向性

重要業績指標(KPI)

創業者数

【1. 創業の促進】

- ①新規創業助成金活用数：1件
- ②新規創業利子補給補助活用：8件
- ③新規創業者：1件

【2. 地元事業者の支援】

- ①小規模企業支援事業：8件
- ②支援事業者数：2件

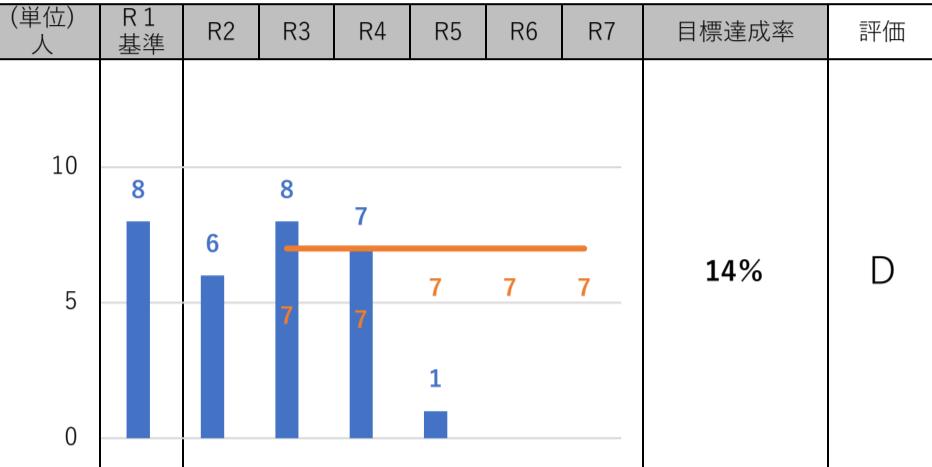
【3. 事業承継の支援】

- ①事業承継事業：0件
- ②人材育成事業：33件

【4. 雇用機会の創出】

- ①企業立地促進事業：11件
- ②お試しオフィス活用視察件数：5件
- お試しオフィス活用件数：20件
- ③紹介チャネル掲載事業者：5年度未実施

1. 商工会と連携し、補助金・助成事業の継続により中小企業者への支援を行う。
2. 雇用の創出につながる投資に対する支援を行う。
3. 県内の関係機関で構成される「広島県事業継承ネットワーク」における事業を活用し、関係機関との連携や取組を強化。
4. ①企業立地支援を引き続き推進する。
②「お試しオフィス」を活用し、企業誘致を進めしていく。
③企業紹介動画の掲載数を増加できるよう取り組む。



14%

D

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：0人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 創業の促進】

- 補助件数を限らないのは良い。
- 申請件数が少なかった。

【2. 地元事業者の支援】

- 町の支援があり、国・県より申請しやすいので良い。
- 周知方法の検討が必要と思われる。

【3. 事業承継の支援】

- 30万円でも事業承継の補助があり、やれることがあって良い。
- 維持の補助金がない。

【4. 雇用機会の創出】

- まちなかが望ましい。(お試しオフィス)

1. 創業の支援内容については好評を頂いており、創業の後押しを行ってまいります。
2. 支援内容については好評を頂いておりますが、内容等については引き続き検討を行ってまいります。
3. 人材育成事業については多数ご利用いただいておりますが、支援内容については引き続き検討を行ってまいります。
4. 企業誘致に繋がるよう、引き続き検討を行ってまいります。

総合戦略推進会議意見・評価

評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

創業者数が1名にとどまった原因は何か。

相談は10件受けたが、創業か就職かを悩んでいる方もおり、創業者数低下の一因となったと思われる。

基本施策2 将来の世羅町を担う人材の育成

令和5年度の成果

全体を通しての方向性

重要業績指標(KPI)

認定新規就農者数(産業創造大学卒業者で認定した者)

【1. 農業の担い手の育成】

- 世羅産業創造大学卒業生で認定新規就農者：0人
- ※卒業後、雇用就農1人

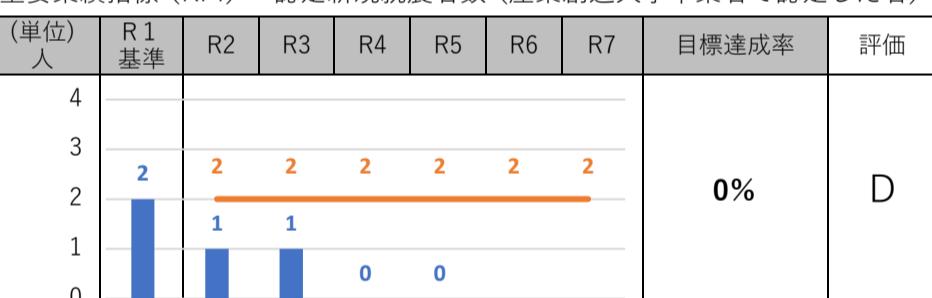
【2. 6次産業の推進による人材の確保】

- 6次産業化支援件数：0件

【3. 介護福祉人材の確保・育成】

- 紹介フェア参加：10施設1高校
- 介護福祉士実務者研修受講者：9人
- 介護職員への研修会参加者：9施設・事業所51人
- 福祉用具提示・体験フェアの開催：13人参加

1. 就農フェアへの参加、農業求人サイトや農業体験を通じ研修生の確保を行う。・国の事業を活用し、就農時の資金確保等、早期経営安定化に向けた支援を行う。
2. 地域で実施するイベント・研修会等の活動支援。・県等と連携し、サポート支援事業等の実施。
3. 事業所紹介フェア実施、パンフレットの活用。介護福祉士実務者研修開催、介護資格取得支援拡充。介護職員への研修会の開催。・介護助手導入促進事業の実施。



0%

D

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：2人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 農業の担い手の育成】

- 新規の人が入ってきている。
- 中山間地域直接支払などを集約する等、効果的に草刈り作業に活用できる仕組ができるか。
- 集落法人の後継者問題が心配。

【2. 6次産業の推進による人材の確保】

- いろいろな付加価値の付け方があるのではないか。例：つくったお母さん達と交流しながら田舎料理が味わえる。(体験を付加)
- 6次産業の後継者づくりができない。

【3. 介護福祉人材の確保・育成】

- AIが高齢者の話し相手をする。介護記録を自動化するなどICT化を進めている。
- 世羅町の傾向では、初めての介護保険の申請で急に要介護度が高い状態になられる。高齢になっても無理をしてがんばっている人が多い。
- 介護職の高齢化。三原、尾道、三次などへ働きに出る人もいる。(給料面)

1. 令和5年度に研修制度を見直したところであり、ぶどうとアスパラガスの新規就農希望者の呼び込みと農地の確保を引き続き進めてまいります。
2. 中山間地域直接支払制度については、現行の第5期対策が令和6年度で終了します。各協定において、次期対策を効果的に活用できるよう、計画策定の支援を行います。
3. 担い手育成協議会等と連携し、各法人の人材の棚卸を促し、今後の対策等について検討する予定です。
4. 活動の推進及び人材の確保等について、引き続き支援を行ってまいります。
5. 世羅町福祉・介護人材確保等総合支援協議会における各種取組(ICT・介護ロボット展示会、事業所紹介フェア、福祉の職場体験バスツアー、職員研修、介護助手導入促進事業)への支援とあわせ、福祉人材確保のための資格取得助成を推進します。

総合戦略推進会議意見・評価

評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

農業の担い手の育成について県との連携は実施しているのか。

世羅町担い手育成協議会の構成員に県がいる。県主催の就農相談会にも町が参加。社会人経験がある方が多い。高収益作物を研修品目に位置づけている。

産業創造大学は学生が新規に起業するのは厳しいと思う。

基本施策3 観光振興について

令和5年度の成果

全体を通しての方向性

重要業績指標(KPI)

観光消費額

【1. 観光振興の推進】

- ①観光消費額：2,305百万円
- ②入込観光客数：1,856千人

- ・新型コロナにより落ち込んだ観光客数と観光消費額は徐々に回復してきたが、各関係団体等との連携を深め、第2期世羅町観光振興基本計画に掲げる4つの施策を推進していく。
- ・世羅町観光振興補助事業を行い、イベント補助金、インバウンド対策事業補助金など、町内観光事業者に対する支援を実施する。・インバウンド対策としては、台湾、韓国を中心とした東アジア圏からの誘客に係るPR活動などの施策を実施する。



61%

C

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：0人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 観光振興の推進】

- 一部農園には観光客が入っている。
- 観光バスが増えている。
- 対策が様子見になりがち。

1. 第2期世羅町観光振興基本計画の目標達成に向けて、新たな補助事業の創設など、観光事業者等の様々な取組みに対し支援してまいります。

総合戦略推進会議意見・評価

評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

町内の宿泊客数の現状は。

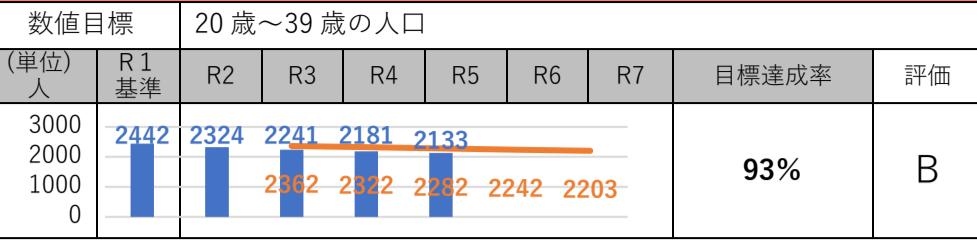
宿泊客数はコロナ前の状況に戻ってきている。

韓国から広島空

基本目標II 世羅町の魅力を活かし、若い世代を中心とした移住・定住を推進する

【基本的方向】

移住定住促進を図るため、総合的な相談窓口を設け、住まい・仕事等ニーズに応じた情報を提供します。空き家バンク制度等を活用した移住定住相談や住宅の取得に向けた支援を行います。また、地域外の人材を積極的に受け入れ、関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。



【総合戦略評価・意見】 評価できる：13人 評価できない：0人

今後は、若い外国人にも世羅町を選んでいただけるような地域住民との顔の見える関係づくり等が必要になってくる。

基本施策1 移住定住に関する総合的な支援

令和5年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI）	移住者数（空き家バンクに限る）								
【1. ニーズに応じた移住定住支援】 ①空き家購入支援件数：3件 ②空き家バンク新規物件登録件数：20件 ③若年者遠距離通勤助成件数：44件	1. 固定資産税納付書送付用封筒の告知文の印刷やサロン・終活セミナーでの制度周知により、継続的な広報に努める。 ・勉強会やセミナーを開催し、空き家所有者に対し情報提供できるよう取り組む。 2. 広島県や広域連携で立ち上げているFacebookやTwitterを活用し、世羅町の情報を細やかに発信する。 3. 移住体験や移住準備のために利用できるよう、引き続き、事前体験する場や機会を提供する。 4. 世羅町移住・交流促進協議会を中心に、関係人口創出に向け、広島県の事業を活用しつつ、自治組織とも連携した事業を企画し、実践する。	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
【2. 移住者への情報発信の拡充】 移住相談件数：164件		30		18	21	25	22	24	26	28	30
【3. 事前体験する機会の創出】 ①お試し暮らし利用回数：6回 ②移住体験プログラム実施件数：1件		15				14					
【4. 関係人口の創出】 ①関係人口創出事業参加者数：5人 ②地域おこし協力隊任用人数：1人		0				7					

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：5人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. ニーズに応じた移住定住支援】 ●前よりも空き家バンク制度は利用しやすくなっている。 ●空き家バンクの情報収集において個人情報の保護がネック。	1. 空き家バンク制度は、平成21年度の制度開始以来、状況や要望を勘案した制度改正をしながら進めてきており、今後も必要に応じて制度の見直しを行って参ります。 ・コロナ禍の影響を受け空き家バンクへの物件登録件数が伸び悩んだことが、令和5年度のKPIの未達成に大きく影響したと考えています。個人情報の保護に配慮しながら空き家の情報収集に努め、より多くの物件登録につなげて参ります。
【2. 移住者への情報発信の拡充】 ●LINEの通知で気を引く情報発信の検討。空き家バンク情報を発信しては。 ●SNSの情報発信が不足。	2. LINEの活用を検討します。 ・広島県や広域連携で立ち上げているFacebookやTwitterを積極的に活用します。また、空き家バンクの物件情報は、広島県のサイト「みんと」への登録件数を増やします。
【3. 事前体験する機会の創出】 ●体験プログラムが盛りだくさんであることは良い。 ●お試し暮らしの希望時期が重なってしまう。	3. 体験プログラムの実施は、より具体的に世羅町での暮らしをイメージでき、地域の方と交流することにより移住実績につながるので、可能な限り実施に努めます。 ・お試し暮らしを使えない場合は、農家民宿の案内をするなど、別の方法を提案します。
【4. 関係人口の創出】 ●農業就業人口が不足している。 ●移住後、農業者同士での助け合いも出来ている	4. 引き続き、産業振興課と連携を図り、就農を希望する方の移住に努めます。 ・移住者や農業者のネットワーク組織がそれぞれ組織されており、交流や協力をされております。

総合戦略推進会議意見・評価

評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

空き家バンクの登録数増加をどのように進めていくのか。	ホームページの掲載へのほか、固定資産税の納付通知書送付用封筒へ告知を掲載。また、サロンなどの地域の集まりへ伺い、空き家バンク制度の紹介をしている。
若い外国人に世羅町を選んでもらえるような体制は。	令和6年度に備後圏域多文化共生ビジョンを策定し、地域住民との交流事業実施等を検討。

基本施策2 快適な住環境の整備

令和5年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI）	新築住宅戸数								
【1. 快適な住環境の整備】 ①住宅リフォーム補助事業利用件数：43件 ②飲用水施設整備補助件数：12件 ③合併処理浄化槽設置基数：34件	①住宅リフォーム補助事業を引き続き継続し、利用状況に応じた柔軟な予算措置を行う。 ②引き続き飲用水施設整備補助の継続をする。 ③国、県の補助基準額に加え、町独自の補助金額の上乗せ及び国、県の補助対象外である新築家屋に対する補助金交付を継続する。汲み取り及び単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽設置を重点的に推進する。	(単位)戸	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：5人 有効でない：0人		100	72	65	75	75	75	75	75	79%	B

【1. 快適な住環境の整備】

- 浄化槽の維持管理の補助金は良い。
- 屋根の修繕補助率低い。

1. ①住宅リフォーム補助事業は毎年目標値の40件を上回る利用件数があり、多くの方に活用いただいている。工事内容による補助率の嵩上げは難しいものの、引き続き事業の継続と広報に努め、快適な住環境の整備を進めていきます。
②③移住定住者が活用できる補助事業等についても、担当課と連携し町のホームページやパンフレット等で積極的に周知を図ります。

総合戦略推進会議意見・評価

評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

—	—
---	---

※住民ワーキング会議からの意見

青字 プラス評価 赤字 マイナス評価 黒字 その他

数値目標・重要業績目標（KPI） 評価 A 100%～ B～99% C～69% D～29%

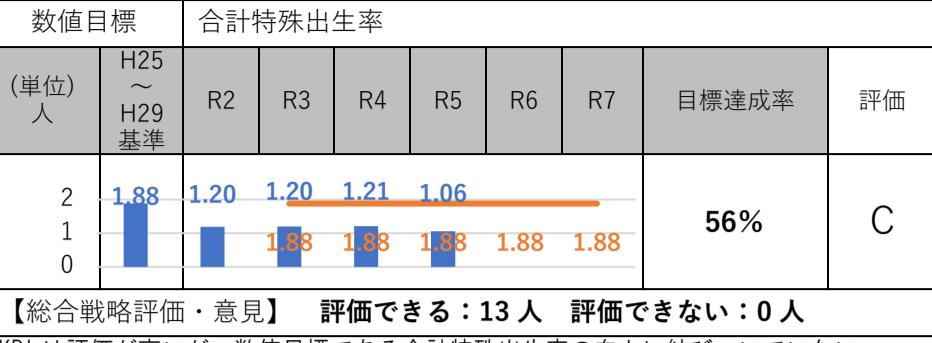
実績値

目標値

基本目標III 結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を整備する

【基本的方向】

結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組みます。



【総合戦略評価・意見】 評価できる：13人 評価できない：0人

KPIは評価が高いが、数値目標である合計特殊出生率の向上に結びついていない。

基本施策1 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的な支援の提供

令和5年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI）	子育て世代包括支援センターの利用人数							
(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価	
1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】 ①②子育て世帯包括支援センターの利用人数8,585人 ③イベント参加人数：13人	1. ①②親子が気軽に集まれるワースペースや相談ができる環境整備に努める。③世羅町移住・交流促進協議会と連携し開催する。 2. 子育て親子が交流できる広場を検討し、育児不安や子育て負担の軽減や解消の支援に務める。 3. ①継続実施により保護者の経済的負担の軽減を図る。②令和6年度より、町の保育料（0～2歳児）を無償化とし保護者の経済的負担の軽減を図る。 4. ①公立世羅中央病院において病児・病後児対応型等を新たに実施し、保護者のニーズに対応するための支援、提供を行う。②放課後児童クラブを引き続き民間委託により安定的な雇用、良質なサービス等の提供を行う。③地域の主体的な放課後子供教室の運営を支援、実施地区の拡大を図る。	10000 8000 6000 4000 2000 0	7180	7630	8594	8585			114%	A

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：2人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】 ●婚活イベントを開催できたのは良い。 ●プライバシー確保ができない点。いつでも行ける広場はいるのではないか。 ●プライバシーの保護できるスペースを確保してほしい。	1 ①プライバシー確保については、保健福祉センター内の個室の相談室で対応しております、今後も子育て支援課内で確保できるよう検討してまいります。 ③引き続き、婚活イベントの開催を通して、出会いの場の創出に努めます。
【2. 保護者などの主体的な子育てへの支援の充実】 ●1才までは不安が強いのでそこが充実しているのは良いと思う。 ●広場が屋外でされているのは世羅の魅力では？ ●母親が仕事を始めると支援センターの利用をしなくなる。	2 ①支援センター利用は、就労により回数は減少するものの健診や来所時での相談などセンターを利用していた事により関係性は保たれています。支援センターで実施する事業の中には、土・日曜日に開催する事業もあるためしっかり広報していきます。 ①②子育て親子が交流できる広場を継続して検討し、育児不安や子育て負担の軽減や解消の支援に務めます。
【3. 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】 ●医療費が安くなるのは助かる。 ●病院へお金がかかるので、医療費の補助があることを知つてもらって、受診控えが出ないようにして欲しい。 ●マイナ保険証になるなら福祉医療の県外受診も、県内と同じ負担になるよう早目に対応してほしい。	3 ①乳幼児医療費及びこども医療費助成制度を今後も継続して行います。 ・福祉医療費助成制度について、広報等により周知を行います。 ・福祉医療の各受給者証が県外でも使えるよう、国においても推進されているので、システムベンダーとも協議を重ねながら、早期に制度が整うようにしていきます。
【4. 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】 ●病児保育の制度は、すぐに迎えに行けない人にとって、とても助かると思う。 ●放課後子供教室の開催地区が増えたのは良い。 ●病児保育の制度は定員が限られており、感染症が流行る時期などは、利用できない人が発生しそうで不安。	4 ①公立世羅中央病院の病児保育事業について、今年度の利用状況により1日当たりの利用人数等を検討し保護者のニーズに対応するための支援、提供に努めます。 ③開催地区の拡大に向けた取り組みを継続します。

総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

晚婚化や各家庭の考え方などにより、子どもを産むことを勧めることはできない。	現状では、30代以降の出産者が増えている。出生数が50に減った要因は今後検証する。
---------------------------------------	---

基本施策2 将来を担う若年世代の人材育成

令和5年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標（KPI）	世羅高等学校入学者数									
(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価			
【1. 学習支援の促進】 ①1人1台端末機を効果的に活用することで、主体的に学ぶ機会が増えた。また、デジタル教科書やインターネット資料を活用することで児童生徒の学びを深めることができた。 ②電子図書館導入への研究、検討を行った。 【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】 ①世羅高等学校入学者数：89人 【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】 ①返済制度支援者数：0人	1. ①実技を伴う教科において活用頻度が低い傾向にあるため、そうした教科におけるICT活用手法の検討を行い、活用状況の活性化を図る。また、ICT化が進むことで授業の準備時間の削減や校務作業の効率化が図られ、教師が生徒に向かう時間が増えることが期待される。 ②電子図書館コンテンツ拡充状況と各図書館の蔵書充実について、来館者及び司書の意見も踏まえ、引き続き導入に向けた検討、研究を継続する。 2. ①IT及びAIに関連した学習に関する支援。企業版ふるさと納税の活用等による支援。 3. ①支援制度の情報発信。	200 150 100 50	109	111	124	110	115	120	125	130	74%	B

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：2人 やや有効：1人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え方

【1. 学習支援の促進】 ●クロームブックで児童がやった事の分析が出来るので先生がデータで活用できる。 ●ICTの活用において教える側のスキルアップが重要。 ●電子図書館導入に係る費用について、具体的な検討がなされてない。	1. ①ICTを効果的に活用することにより、児童生徒の学び方や個に応じた支援を行うことができるようになります。 ・授業の中で活用することにより、個人思考が、教師へ可視化され、支援や手立てが行うことができます。 ・教員、児童生徒のICT機器の操作する力は向上しています。また、今後、国の学力調査を一人一台端末で行う方針も示されており、データの集計・分析をさらに迅速に行うことができます。 ②電子書籍のライセンス料、システム導入や運用経費など、より具体的な数値をもって検討をおこないます。
【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】 ●いい取組をされている（もっと情報発信してほしい）。 ●部活の外部指導者の費用を支援したらどうか。 ●進学の際のタブレットの購入費を支援すべき。	2. 支援については、生徒保護者に対して、進路説明会・オープンスクールで周知を行っていただいている。令和6年度はSuper世羅塾への支援の増額を行いました。支援内容は世羅高校と協議検討を行っています。
【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】 ●制度自体は企業には有難い。 ●違う仕組みを作つては？Uターンした子の返済を支援するなど（個人へ）。 ●町で独自に制度を作つても良いのでは。	3. 事業者が若年者を中心とした人材の確保が出来るよう、引き続き周知を行つてまいります。

総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：13人 評価できない：0人

総合戦略推進会議意見に対する町の考え方

世羅高校オープンスクールの参加状況、中学生への世羅高校の魅力の発信状況は。	令和6年度オープンスクールの参加者数は136人、専門科の入学者数が少ない状況があり、町内外の中学生に向けて専門科のアピールに力を入れていく。（世羅高校）世羅高校への支援を継続するとともに、世羅高校の魅力の発信を高校と連携して行う。
---------------------------------------	---

